

2024
1
January
Vol.94

SNSで旬な情報を
投稿しています



JAしまねびより



特集

2024年

も

農業の伸びしろたっぷり！

辰



可ーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers

松本 悠太さん
[くにびき地区本部]

JALしまね くにびき地区本部版

初春のお慶びを申し上げます

役員一同



代表理事組合長
石川 寿樹

新年あけましておめでとうございませう。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。令和6年の年頭にあたり、組合員の皆様から旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行した結果、経済・社会活動はコロナ前の姿を取り戻しつつあります。JAしまねにおきましても、通常総代会や農業まつりなどの各種イベント、JA青年組織・女性組織や生産部会の総会等も通常開催となりました。一方で、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻といった世界の混乱による物価高騰や急激な円安によって、燃油や飼料・肥料などの生産資材価格の高止まりが依然として続いており、農家経営は非常に厳しい状況となっております。

こうした中、JAしまねでは各地区本部の営農担当者が国の肥料価格高騰対策事業の申請支援を行い、申請件数

5,128件、支援金額3億1千万円を受け付けました。今後も役員総力をあげて農家支援に取り組んでまいります。

一方、事業運営につきましては、令和5年9月末決算において、計画を上回る成果を上げることができました。しかしながら、当JAの収益を支えてきた信用・共済事業部門の収益は、年々減少傾向にあります。我々JAの使命である農業振興を実践していくためには、盤石な経営基盤を確立することが重要であり、引き続き事業改革の取り組みを進めていく必要があります。

特に、営農経済事業改革では、農機事業において、昨年7月に全農とJAしまねの共同出資による「JA全農島根農機サポート株式会社」を設立し、11月1日より事業運営がスタートしました。今後は、組合員の皆様からの多様な負託に応じていくため、職員の技術向上に努め、IT・スマート農機や大型機械にも対応してまいります。

また、今年度より立ち上げた3つのプロジェクトにつきまして、鋭意取り組みを進めております。

1つ目の「しまねの有機農業・米粉生産拡大検討プロジェクト」では、国の「み

どりの食料システム戦略」に呼応し、持続可能な農業の可能性を拡げるため、これまで有機カボチャや有機米の実証に取り組みしました。今後も有機農産物の生産拡大を目指して、取り組みを進めてまいります。また、米粉振興につきましては、中山間地の水田維持を実現するため、米粉専用品種の試験栽培や製粉事業の検討にも着手しました。

2つ目の「ホームセンター連携検討プロジェクト」では、昨年11月の理事会でジュンテンドーとの連携が決定いたしました。今後は、ジュンテンドーとの協議を進め、組合員の皆様にとってのメリットを最大化できるよう努めてまいります。3つ目の「自動車燃料事業の県域会社化検討プロジェクト」では、事業の継続性と専門性の強化を目的に、県域で一体となった事業展開を進めていくため、会社化準備室を設置し、具体的な検討を進めてまいります。

結びに、組合員の皆様にとりまして、本年が実り多く、健康で明るい年となりますようお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

J Aしまね女性部
部長 高橋 美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動に対しご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻や円安が進んだことで国内ではさまざまな物価が上昇し国民の生活を圧迫しています。その一方で、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、徐々にコロナ前の活気を取り戻しつつあります。

そのような中、私たち女性部の活動でも「〇年振り」という言葉が聞こえてくるようになりました。昨年7月には4年ぶりに中国四国地区J A女性組織リーダー研修会を、12月には5年ぶりにJ Aしまね女性大会を実開催することができました。これまでWEBでの開催を余儀なくされていましたが、こうして再び部員たちと顔を合わせて対話ができることの喜びを実感しました。

また、コロナ禍で困窮する学生や子どもたちを支援する目的で始めた“米一握り運動”も4回目を迎えました。今年度は2回に分けて行い、現在1回目が終了しました。J Aしまねや鳥根県農協青年組織協議会にもご協力をいただきながら、県内の子ども食堂・フードバンク事業者などに多くのお米を寄贈することができました。この運動にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年はいくまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性組織活動の実践を進め、ますます活力あるJ A女性部ならではの活動を目指してまいります。今年も私たち女性部に変わらぬご指導、ご協力をお願いすると共に皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

鳥根県農協青年組織協議会
会長 古川 敬



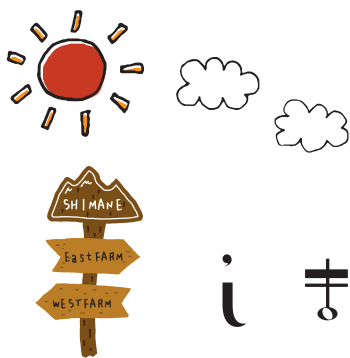
新年あけましておめでとうございます。

日頃より鳥根県農協青年組織協議会（以下、県青協）ならびに鳥根県内盟友の活動において、ご理解とご支援・ご協力頂いていることに対し厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、不安定な世界情勢が続き日本経済は深刻な影響を受け、多くの食料品や生活用品が値上がりいたしました。農業現場においても生産資材や飼料、燃料の高騰や農畜産物の需給ギャップ拡大が経営を圧迫してきております。

このような中、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され「活動を活発に！」とも思いましたが、体力を消耗しているのは県青協も同じでした。各地区での活動も自粛や縮小傾向の流れは残っていましたが、それでも「各単組の総会への参加」、「鳥根県JA青年大会の開催」、「全国大会や中国・四国JA青年大会と研修視察への参加」、「鳥根県農林水産部・JAしまね・隠岐どうぜん若手畜産農家・鳥根県商工会青年部連合会との意見交換会の開催」、「国会議員への要請」など、WEBやLINE、SNSも活用しながら県青協として活動してまいりました。これからは農業青年の繋がりを基に、食や農業の大切さ・大変さ・魅力を発信していけるように幅広く意見協力を求め、農業振興や地域振興に繋げていきたいと考え、竜頭蛇尾にならぬよう県青協一丸となって取り組んでまいります。

最後になりますが、盟友の皆様と関係各位の皆様のさらなるご発展とご健勝を祈念申し上げますと共に、実り多き年でありますことをご祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



つけた しまものファーマーズ

Shimane farmers



歴史ある八束町の牡丹栽培

まつもと ゆうた 松本 悠太さん(35歳)

今月はくにびき地区本部。松江市八束町で牡丹(ぼたん)の栽培・販売・普及に取り組む松本悠太さんにお話を伺いました。

伝統が途絶える危機感からの決意

島根県と鳥取県にまたがる汽水湖・中海に浮かぶ大根島。ここでは、生産量日本一を誇る牡丹の栽培が盛んです。島内の牡丹栽培は約300年前から始まったとされ、今も数力所の牡丹園が存在しています。

その中の牡丹園のひとつ「松本農園」で、すべての業務に携わる松本さん。20代前半の頃にデザインを学んだ後、地元会社に就職し、社内のあらゆる制作物のデザインをする仕事をしていました。

転職が訪れたのは、当時付き合っていた奥さんの実家へ挨拶に行った時。それまで家業のことは聞いていませんでしたが、松本さんは「服のボタンの工場かな？」と勘違いしていたほど牡丹について知らなかったそう。初めて花であることを知り、さらにお義父さんの「大根島の牡丹栽培は、高齢化によって衰退の一途を辿っている。後継者もおらず、このままでは日本一どころか、生産を続けることも難しい」という言葉に衝撃を受けたと言います。「長年の伝統が途絶える危機感を覚えた」と当時を振り返る松本さん。

その時働いていた会社も、自分たちで生産し、商品を生み出し、販売していく6次産業に取り組んでいたこともあり、今までの知識が何か役に立つかもしれないと、徐々に自分が受け継ぐ決意に変わっていききました。平成23年の結婚を機に大根島へ移住し、1年間の研修を経て、平成25年に松本農園の跡取りとして就農しました。

5年の歳月をかけて育てあげる牡丹

通常、春が見頃ですが、お正月に飾ると縁起が良いとされる牡丹。そのため、ちょうどお正月に花が

咲くよう、冷蔵庫などで寝かせておく抑制栽培を行い、年末に合わせ最も良い状態にする技術が必要とされます。また、牡丹は花を鑑賞できるようになるまで最短でも5年ほどかかり、非常に長い年月をかけて育てられています。

まずは芍薬の台木を2年かけて育て、3年目にその木と牡丹の穂(芽)の接ぎ木を行います。こうすることで、芍薬の力を借りて成長速度を何年も早めることができるそう。そして、さらに2年かけてやっと成木に成長します。松本さんは、「最初は理解するのが難しかったけど、5年の成長サイクルを一通り経験した時によやくコツがつかめてきた」と話しました。

それほど手間暇かけて作られる牡丹ですが、一輪の花を綺麗に鑑賞できるのは約3日間だけ。しかし、その一瞬の華やかな姿は、花火のようにインパクトが強く、ずっと人々の脳裏に記憶として残り続けます。そんな牡丹に魅了されたファンが全国に多くい



牡丹の接ぎ木苗を定植する松本さん



1年で一番忙しいのは年末の時期。お正月に綺麗な花を咲かせるため、気温などを確認しながら出荷作業を行います。

ます。「最初はお客さんに質問されても、答えられなかったんです。悔しさから猛勉強しました」と語る松本さん。今では、誰にも負けなくらい牡丹の知識を積み上げています。

感性と技術を活かしながら 情報発信を

松本さんが牡丹の栽培を始めてから身を持って感じたのは、牡丹に関する情報が圧倒的に少ないことだそう。どんな品種があつて、どういう育て方や管理をしたらいいのかわからないというお客さんも多いのだそう。その要望に応えたいと、ホームページをはじめ、インスタグラムやfacebookなどで情報を発信し続けています。それには、「花が美しく咲く3日間に至るまでの、牡丹のストーリーも知ってほしい」という思いも込められています。前職で培った技術を活かしながら、誰が見てもわかりやすい発信を心がけています。



362種が掲載されているデータベース本「牡丹名鑑」の制作にも参加。表紙は松本さんがデザイン。

体が資本の仕事だからこそ、 子どもと運動で体力作り

牡丹に携わるようになってから、頭の中は常に牡丹のことについてばいだという松本さん。プライベートでは2児の父として、休みがほとんどない中でも、作業の合間に子どもたちと関わる時間を大切にしています。近所の公園でサッカーをしたり、最近では親子でバドミントンクラブに加入したりして週1回汗を流しているそう。

県花をもっと多くの人に 喜んでもらいたい

島根県の県花として位置付けられている牡丹ですが、特に若い人たちにはあまり知られておらず、生産自体も徐々に衰退しています。松本さんは「もっとたくさんの人に見てもらいたい、喜んでもらいたい」と話しました。

最近では、JAと松

江大根島牡丹協議会が行う「花育活動」に参加。先日は金沢と京都の小学校を訪問し、自分で作った紙芝居でわかりやすく紹介した後、児童たちと一緒に苗を植えたそう。こうして、周りの人たちとも協力し、全国への発信も積極的に取り組んでいます。今後は、新たな品種を増やし、1,000種類を



牡丹について話す松本さん

育てることが目標。その一方で、江戸時代から農家や愛好家によって

伝え続けられた古典品種も大切にしたい気持ちも強い松本さん。「やはり昔の品種は、今の牡丹にはない良さがあるんです」とあらゆる所から古い品種を収集し、種を守り続けています。

長い年月をかけ、たくさんの方の手が加わることで、心を揺さぶるような情景を生み出す牡丹の花。春にはたくさんの方々が咲き誇る牡丹園を楽しんでもらいたいと、松本さんは日々邁進し続けています。



松江大根島牡丹協議会の一員として「花育活動」にも積極的に参加し牡丹の魅力子どもたちへ伝えています。

松江八束大根島牡丹

プチっと
情報!

島根県の県花にもなっている牡丹。八束町での牡丹生産の歴史は約300年と古く、1955年頃には新しい栽培技術が導入され生産量が増えました。現在、大根島では年間約250種類、150万本を生産しています。大輪

で色鮮やかな花は国内にとどまらず台湾など海外でも人気を集め、島根県が誇る代表的な花となっています



辰

しろたっ ぶり!



功」する年とも言われているそう！
続く中、龍が空を昇るように力強く困難を乗り越え、目標に向かって突き
(辰) ぷりにお話しいただきます！

雲南市大東町 雲南地区本部

藤原 潤さん(37)

主に綿花を栽培しています。周年出荷ができる栽培体系をとるために、昨年から綿花の他にカリフラワーなど3品目の野菜栽培を始めました。全ての品目が栽培期間中、農薬・化学肥料不使用です。今後は有機JAS認証取得を目指します。



隠岐の島町 隠岐地区本部

村上 淳一さん(42)

現在、島の香り隠岐藻塩米を生産しています。今年の目標は、味や品質面では決して他に引けを取らない島の香り隠岐藻塩米を皆さんに知っていただき全国区のブランドにすること。さらには海外の方にも食べていただいて、輸出にもつながっていきたいです。



斐川町 斐川地区本部

農事組合法人かわひがし
(井上富雄組合長)

米や麦、大豆の土地利用型作物を中心に、キャベツやサツマイモ、枝豆、たまねぎ苗など5品目の園芸作物にも力を入れています。所得の向上と水田園芸の振興につなげるため、今年産の収穫を目指し、たまねぎの生産にも挑戦を始めました。



大田市山口町 石見銀山地区本部

大國 裕紀さん(32)

祖父母の後継者として就農して7年。耕畜連携による稲わら利用促進に取り組みながら、繁殖和牛を25頭飼育しています。現在、家畜人工受精師資格の有効活用を目指して勉強中です。牧草地を拡充、増頭して、肥育にも挑戦したいです。



益田市遠田町 西いわみ地区本部

可部 泰成さん(24)

2020年に島根県立農林大学校を卒業後、益田市内の施設農家での研修期間を経て、昨年春から同市内の遊休ハウス4棟を借り受け、メロンとトマトの生産を始めました。学ぶことが多く不安はありますが、部会の先輩に教わりながら技術を身につけ安定経営を目指したいです。



2024年も

農業の伸び

新年あけましておめでとうございます。

2024年は辰年🐉古くから縁起が良いとされている辰(龍)にちなんで「上昇」や「成
そんな2024年第1号の特集では、生産資材価格の高止まりなど厳しい状況が
進む農業者の皆さんをご紹介します😊将来の目標や頑張っていることなど伸びしろたっ

松江市八幡町
くにびき地区本部

渡部 卓也さん(46)

2022年1月に独立し、イチゴ農園を経営しています。よりおいしいイチゴを目指して、本来の甘味、酸味、香りが出せるよう、愛情たっぷりに育てています。「あそこに行けばおいしいイチゴがある」と思っていただけのようなイチゴを、末永く作っていきたいです。



安来市伯太町
やすぎ地区本部

長野 倫樹さん(28)

寺田農園で高品質な牛乳を生産し、地域の方々や学校給食の安心安全な健康と食文化を支えるため、日々頑張っています。厳しい酪農情勢ですが、次の世代に繋げていけるよう、さまざまな取り組みを通して、持続可能な酪農家を目指します。



西ノ島町
隠岐どうぜん地区本部

道前遼太郎さん(27)

東京農大卒業後、アメリカへの留学、鹿児島での農家研修を経て2023年7月に西ノ島町に帰郷しました。現在は家族で繁殖牛を約110頭飼育しています。学んできたことや同町の放牧を最大限活用しながら、500頭規模に拡大する夢を持って、頑張ります。



出雲市大社町
出雲地区本部

谷口 太一さん(39)

ぶどう農家として新規就農を目指し、現在は研修を受けています。自分が栽培した作物で食べた人を感動させたいという想いから、勤めていた会社を辞めて就農を決意しました。今年は就農に向けて研修最後の一年。自信を確信に変える年にしたいです。



美郷町
島根おおち地区本部

木村 陸さん(20)

島根県立農林大学校を卒業後、地元に戻り昨年の春から就農しています。これから失敗もしながら経験を積んで、経営の安定を図りたいです。そのため、今栽培しているミニトマトの収量アップを目指して、日々全力投球で頑張ります。



浜田市吉地町
いわみ中央地区本部

吉岡 健児さん(31)

岡山県で2年間、椎茸農家のもとでの修業を経てUターンしたのち、2023年に就農しました。僕には「伸びしろ」しかありません。生産者は減少していますが、産地復活に向けて微力ながら頑張っていきたいです。バモス！



topics 1

島根県協同組合連絡協議会学習交流会を開催



島根県内の協同組合5団体で構成する島根県協同組合連絡協議会は12月11日、松江市の島根県林業会館で令和5年度島根県協同組合連絡協議会学習交流会を開きました。構成団体の役職員ら41人が参加。県内外の事例などから、人口減少が続く地域の課題に対して協同組合間の連携で何ができるか探りました。

当日は、地域連携について研究する島根県立大学地域政策学部准教授の田中輝美さんが『共存同栄』の未来に向けて」をテーマに講演。田中さんは浜田市金城町美又地区で「農協さん」の愛称で親しまれていた同JAいわみ中央地区本部の建物を活用し、地域の拠点づくりに取り組んでいます。講演では、外の仲間（関係人口）とのつながりが、人口減少時代における魅力的な地域・組織づくりになると話しました。

また、日本協同組合連携機構（JCA）の青木寛さんが全国の協同組合連携の取り組みの他、同機構の調査により島根県は協同組合の加入率全国1位であったことを報告しました。



興味深く講演を聞く参加者ら

調査によると...

島根県は、もっとも協同組合が利用されている県
 島根県は、もっとも色んな協同組合が利用されている県
 島根県は、もっとも協同組合が知られている県
 島根県は、もっとも協同組合が役に立っている県
 島根県は、もっとも協同組合の職員が親切な県



このことから「島根県は、もっとも協同組合が地域とつながっている県」と評価されました

topics 2

中国・四国地区JA青年大会に盟友2名が出場！



11月16日に広島市で「中国・四国地区JA青年大会」が開催され、県代表として「JA青年の主張」にくにびぎ青年連盟の野津喜洋さん、「JA組織活動実績発表」ではやすぎ青年連盟の佐藤明次さんが出場しました。

野津さんが発表した「委員長はつらいよ。でもやってよかった〜！」がJA青年の主張で優秀賞を受賞しました。

野津さんは、自身が9年間にくにびぎ青年連盟の委員長を務めた中で得たことを発表。人前に立つことが苦手だったが克服できたことや、大切な仲間ができたこと、経験値の向上と交友関係の広がりにつながったことを挙げ、他の人のために努めることは自身を成長させると呼びかけました。

佐藤さんは「食農でつながる持続可能な未来」をテーマにやすぎ青年連盟で取り組んでいる、「JA新入職員農業実習と女性部との連携による地元保育園児とのサツマイモ栽培体験」について発表。「なんかやろーやー」を女性部との合言葉に、より良い農業の実現や地域の発展を目指していることを伝えました。



自分の想いや青年部活動などについて発表した野津さん（写真左）と佐藤さん（写真右）

翌日の17日には3つのコースに分かれ、JA西日本営農技術センター、JA全農ひろしま和牛TMRセンター、生産者圃場などを視察しました。

topics 3

令和5年度産あすっこ出荷協議会を開催



JAしまねは11月14日、出雲市斐川町の同JA営農経済本店で令和5年度産あすっこ出荷協議会を開きました。山陰を中心とした6市場の関係者やJAアグリ島根、JA担当者らが出席し、本年度産の状況や市場情勢、出荷規格、出荷方法、販売対策などについて協議しました。

「あすっこ」はブロッコリーとビタミン菜を交配させて誕生した島根県オリジナル野菜。葉や茎など全て食べることができ、苦みやクセがないため子どもにも人気があります。

市場からは「年々認知度が高まっており、スーパーや学校給食、保育園などからの需要も多いが、出荷量が少なくお客様のニーズに応えられない。産地の作付けを増やしてほしい」と要望が集中しました。

同JA本店園芸販売課の西尾一俊課長は「もっと認知度が高まるよう試食宣伝など努力を続ける。併せて、ニーズに応えるため作付け増に力を入れていきたい」と意気込みました。



【あすっこ豆知識】

「あすっこ」は平成15年に誕生し、平成19年度産から本格的に販売を始めました。県オリジナル野菜として戦略的に取り組むため「あすっこ」の名称は商標登録され、他県への流出・使用を防止するという知的財産保護の措置を講じています。本年度産は11月中旬から出荷が始まっています。県内各地のスーパーなどで販売していますので、ぜひ手にとって食べてみてくださいね😊❤️

あすっこレシピ動画はこちらから▶



あなたもチャレンジ! 家庭菜園 春まきキャベツ

育苗管理が肝心

キャベツなどのアブラナ科野菜は夏まき栽培が一般的です。しかし、低温期に種まきをする春まき栽培では、早期に花茎が伸びて収穫できないことが起きます。適切な品種を選び、苗作りでの温度管理を上手にすれば、初夏に収穫する作型を成功させることができます。

品種

とう立ちしにくい晩抽性と収穫期の高温を避けられる早生性を兼ね備えた品種を選びましょう。

柔らかくジューシーな春系の「春波」(タキイ種苗)、「中早生二号」(サカタのタネ)などがおすすめです。

苗作り

発芽温度は、おおむね5～35度で、適温は20～25度です。その後の温度は、日中15～20度、夜間5～10度を確保します。そのため、トンネル内に温床マットなどで温床を作り、最低10度を目安に加温しますが、日中は25度以上にならないように換気をします(図1)。7.5～9cmポリポットに3、4粒まきし、本葉2枚で1本とし、本葉5、6枚の大苗に仕上げます(図2)。

畑の準備

畑1平方m当たり苦土石灰100g程度をまいて、よく土を耕します。畝幅70～80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、土とよく混ぜて畝を立てます(図3)。

植え付け

時期はソメイヨシノが開花する頃(気温10度以上)に、株間40cmに植え付けます(図4)。

追肥

結球期まで肥効が残らないように、定植後2週間程度で株の周りに化成肥料を1株当たり10gくらいまいて、株元に土寄せします。

病害虫の防除

気温が上がるとアオムシ、コナガの発生が多くなるので、BT剤などで防除します。

収穫

球が固く締まる前に早めに収穫します(図5)。

図1 加温育苗

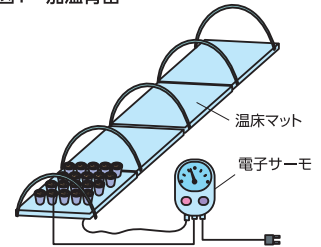


図2 苗作り

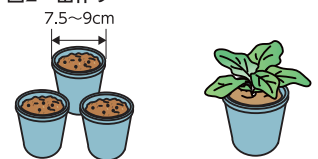


図3 畑の準備

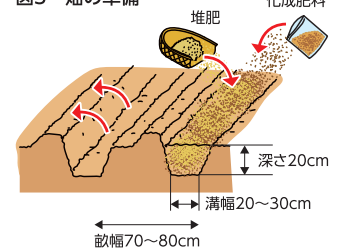


図4 植え付け

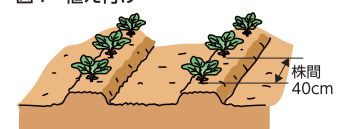


図5 収穫



栽培カレンダー (春まきキャベツ)

	1	2	3	4	5	6	7
冷涼地		●	▲	▲	▲	▲	■
中間地		●	▲	▲	▲	▲	■
暖地	●	▲	▲	▲	▲	▲	■

●種まき ●---●苗作り ▲植え付け ▲---▲生育 ■収穫

理事会情報 (11月29日開催)

【協議事項】

- 令和6年産島根米生産に係る考え方について(品種別作付計画)
- 生産資材事業におけるHCCとの連携について
- 自動車燃料事業の会社化について
- 雲南地区本部の経営改革について
- 令和5年度末決算見込(第1次)について
- 中間期ディスクロージャー誌2023について
- 組合と理事との取引(契約)の承認について(都度承認分)
- 今後の役員体制について
- 総代定数のあり方にかかる 総代・組合員への説明について
- 役員視察研修の考え方について
- 確定給付企業年金規約の一部改正について
- 勤務管理システムの更新について
- 役員退職慰労金の支給について
- 新人事制度導入に向けた今後の進め方について

理事会情報 (12月22日開催)

【協議事項】

- 東・中部集約米倉庫建設計画の見直しについて
- 有機多目的倉庫の新設について
- 令和5年産島根米の追加金について
- 広域施設利用玉ねぎの腐敗等による廃棄に対する生産者支援について
- 子会社等への役員の推薦及び派遣について
- 大口貸出について
- 第10回通常総代会および記念式典の開催について
- 令和6年1月からの専門委員会の委員選任について
- 島根県常例検査書(いわみ中央地区本部)の回答について

本年も宜しく お願い申し上げます

JALしまねくにびき地区本部 役職員一同

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。
旧年中、組合員・利用者の皆さまにおかれましては当地区本部の事業運営に対し、格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は依然として生産資材・飼料・燃料価格等の高止まりが深刻である中、記録的な猛暑に見舞われ農畜産物は収量の減少、品質低下と組合員の皆さまにも大きな影響が及びました。一方で、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、農林水産祭やエコロ祭等のイベントや、キッズサッカー大会の開催等くらしの活動の再開に、協同活動の「活性化」を実感する一年でした。

JALしまねでは、農業情勢や事業環境が厳しい中、10年後を見据え「めざす姿」として策定した「第3次中期経営計画」ならびに「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」について、その完遂と3つの基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向かって取り組んでいます。

当地区本部におきましても、事業ごとの諸課題を解決していくため「重点実施事項」を設定し取り組んでいます。そして、現在の厳しい情勢下において、スローガンとして掲げる「持続可能な地域農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」に向け、引き続き自己改革を進めてまいります。また、改革推進担当が継続して取り組む「改革推進プロジェクト」では、①不稼働資産流動化、②米集荷・販売運動、③集落座談会・集落委員あり方検討、④JAグリーン・グリーンショップ改革の4つのプロジェクトを設置し、収支改善による事業利益の確保はもとより長期的視野に立った「持続可能な経営基盤」の確立にスピード感をもって取り組んでいます。

本年は「第3次中期経営計画」「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、各目標の完遂とともに「松江市農業の振興」と「農業所得の増大」「地域振興の積極的な実践」を目指し事業改革を進めます。そして、事業収支の黒字化確保と諸課題を解決すること、「めざす姿」の実現に向けて取り組みます。
本年が、組合員・利用者の皆さまにとりまして、よき年となりますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



常務理事本部長 越野 浩昭

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は、当地区本部の事業運営には格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月8日に新型コロナウイルス感染症の分類も5類相当となり、日常生活における行動制限などが緩和され、各地域でエコロ祭や、農業イベント等が開催され、地域の皆様と収穫の喜びを分かち合うことが出来ました事は、とても嬉しく感じております。

しかしながら、飼料・肥料・燃料など営農に必要な資材価格は、高止まりの状況が続いており、さらに猛暑や集中豪雨など、相次ぐ異常気象による農作物生産への影響も大きい年でもあり、農業生産には依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況の中で、令和6年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度となりますので、「担い手の育成・確保」「農畜産物の生産拡大と販売力強化」「農畜産物の安全・安心」等、重点振興施策として掲げております事項の完遂に向けて、関係機関や本店と連携し取り組みを進めてまいります。

本年も、地域の農業振興と安定した経営基盤の確立に向けて取り組みを進めてまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

結びに、組合員・利用者の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



執行役員副本部長 中村 隆

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

第62回農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞！

「ライスフィールド有限公司」



吉岡代表取締役

農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催による令和5年度（第62回）農林水産祭において、下佐陀町のライスフィールド有限公司（吉岡雅裕代表取締役）が栄えある内閣総理大臣賞を受賞されました。この賞は、過去1年間（令和4年7月から令和5年6月まで）の農林水産祭参加表彰行事（266件）において、農林水産大臣賞を受賞した465点の中から7つの部門に授与されるもので、同社は農産・蚕糸部門で選ばれました。

同社は水稲、WCS用稲（稲発酵粗飼料）、そばなどを栽培し、地域の農地の受け皿として栽培規模を拡大するなか、①営農管理システムを活用するなどスマート農業技術により生産性を向上し、地域の水田を集積、集約した大規模生産を実現していること②GAP（農業生産工程管理）認証制度「美味しまね認証」並びに、国際基準相当の「美味しまねゴールド」の認証をそれぞれ第1号で取得したこと③県内畜産農家との耕畜連携で地域に貢献していることに加え、さらに安定した雇用の創出や事業継承の取り組みなどが高く評価されました。

11月23日の農林水産祭式典において表彰された同社を12月7日、JA鳥根中央会から田尻宏常務、くにびき地区本部越野浩昭本部長、中村隆副本部長他JA関係者が訪れ受賞を祝いました。

吉岡代表取締役は「地域の皆さんのご協力、ご支援あつての受賞であり、社員16名の日々の努力のたまもの」と話し、今後については、「10年、20年先を見据えながら、人が求めていることをできることは実行し助け合ってきた。また、着実に事業承継すべく人材を育成していきたい」と語りました。



ライスフィールド有限公司の受賞を祝う
（左から）JA全農農機サポート株式会社 奥井雅彦代表取締役社長、越野本部長、吉岡代表取締役、田尻常務、中村副本部長

「松江いちご部会」が設立！

松江市内4戸のいちご生産者が11月27日、同市役所で鳥根県東部農林水産振興センター、同市ならびにくにびき地区本部の関係者が集まり「松江いちご部会設立総会」が開催されました。同部会は「松江いちご」をブランド化する目的で、20代と40代の生産者で結成され、栽培14年目で最も経験が豊富な「のつ農園」の野津喜洋代表が部会長に選ばれました。

部会員4名の令和5年の生産実績は、品種「紅ほっぺ」などを栽培し、栽培面積34アール、販売金額は約1,800万円。10年後には生産者を10名、栽培面積を80アールまでに拡大し、約6,600万円の出荷額の実現を目標に掲げます。今後は、仲間づくりに加え生産技術の向上や共同出荷、新品種の実証栽培に取り組みことで安定出荷を目指します。

当地区本部の中村隆副本部長は「松江いちごを食べた消費者と生産者がともに笑顔になるように、関係機関とともに部会活動も支援する」と期待。野津部会長は「生産者が3名になれば部会を作ろうと目指していたところ、4名の仲間とともに実現できた。ロゴやポツなどを作り松江いちごをアピールし、生産を盛り上げたい」と意気込みを語りました。

松江いちご部会設立総会



「松江いちご部会」を立ち上げた部会員
（左から）渡部卓也さん、渡部旭さん、野津部会長、神門侑花さん

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

さんちよく営農塾 8期生が全カリキュラムを修了！



挨拶をする新宮部長

くにびき地区本部は12月20日、中海干拓事業所研修センターで「さんちよく営農塾」の閉講式を行い、塾生14名が出席し、修了証を受け取りました。

同塾は、将来良品品質の農産物を生産し「産直コーナー」への出荷を目指す人を対象に募集。3月に開講し、栽培の基礎知識や良品質な農産物生産に向けた圃場実習、産直への出荷方法などを16名の塾生が約10カ月、全20回の講座で学びました。

式では、塾長の新宮紀彦営農経済部長が「JAの産直事業にご理解いただき、今後は消費者の動向を見定めながら、それぞれのファンを増やしていくってほしい」とエールを送りました。

修了した奥奈々恵さん（上乃木）は「売れる野菜作りを目指し、きゅうりの生産をメインに良質な野菜が出荷できるような営農塾で学んだことを活かして、レベルアップに努めたい」と意気込みました。



第8期さんちよく営農塾閉講式

松江の風物詩！柿のカーテン揺れる 特産「東出雲の畑ほし柿」を出荷



挨拶をする森廣理事

畑ほし柿生産組合（松江町）では、12月1日から東出雲町畑ほし柿地区特産「東出雲の畑ほし柿」の出荷が始まりました。

「東出雲の畑ほし柿」は、上品な甘さが特徴です。また、令和元年12月には、地理的表示（GI）保護制度の産品に登録されています。

12月6日の日合わせ会には、生産組合員やJA職員らが参加。初めに森廣紀元理事が「今年は、天候もよく乾燥した日が続き、例年以上に甘みも強く、良い状態で仕上がった」と挨拶しました。

その後、大きさや硬さ、色などを確認し、広島や岡山など県内外の市場に向けて出荷しました。



柿のカーテン



検品する様子

牡丹出荷がピーク 箱詰め作業着々と



丁寧に出荷準備をする様子

八束町のくにびき地区本部牡丹集出荷場で、松江大根島牡丹の出荷が最盛期を迎え、職員らは贈答用の箱詰め作業に追われています。

牡丹は県花であり、市花でもあり、中でも八束町（大根島）産牡丹は、年々年初に合わせて大輪の花が咲くように独自の技術で栽培されており、贈答用としても人気が高く、関東を中心に全国各地に出荷されています。

出荷自体は12月中旬から始まっており、集出荷場には、つぼみが膨らんだボタンがずらりと並んでいます。

初めて正月牡丹の出荷作業をする吉岡巨職員は「気温が上がったり下がったり、管理が難しいなかでも大変よい仕上がりのものを出荷していただきたい。届いた方々に観賞を楽しんでほしい」と話しました。

出荷数4,000鉢を予定しており、出荷は1月末まで続く見込みです。



出荷作業の様子

地域貢献・地域活性化団体を表彰 くにびき管内からは3団体

JAしまねでは「地域貢献・地域活性化事業支援金」を設け、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を表彰、普及支援し「地域力」の向上に努めています。令和5年度は組合員や地域の住民を構成員とする11団体を表彰。くにびき地区本部からは、下記の3団体が受賞されました。

当地区本部は11月24日、営農総合センターで受賞された3団体の代表を招き、表彰式を行いました。越野浩昭本部長は「今後も長く住みよい地域づくりに取り組み、地域の思いを次代に繋げてほしい」と激励しました。

団体名 (所在地)	代表者等 (敬称略)	主な活動内容
大庭の里山林保全会 (大庭町)	角 可津夫	荒廃した山林・竹林を伐採するなど整備し、景観を回復。竹の売上を運用資金として活用した。また農産物の鳥獣被害防止のため、柵の設置や補修などを行う。共同作業を行うことで地域の連帯感、活性化を図った。
法吉小学校屋外運動場芝生化運営委員会 (比津町)	松浦 嘉昭	法吉小学校屋外運動場を芝生化し、芝刈り、施肥、散水などの維持管理を行う。地域ボランティアと学校および利用者が一体となり、児童、地域住民の健康増進と緑化による自然環境の改善、地域力の高揚に繋がった。
熊野城跡保存会 (八雲町)	山根 盈樹	山林化した熊野城跡地周辺の伐採や草刈りを行い自然環境の保全、景観改善に貢献。山城ファンを中心に、町内外からの登城者のみならず熊野大社などへの立ち寄りも増え、地域の活性化に繋がった。



前列左から越野本部長、角代表、松浦廣行さん、山根代表、中村隆副本部長



石橋さんを祝福する越野本部長



村上さんを祝福する越野本部長



農林水産大臣賞を受賞した村上さんの作品

第52回交通安全ポスターコンクール
村上香菜さん(東出雲中)が農林水産大臣賞受賞!
石橋由衣さん(内中原小)も金賞受賞!

は、地区本
部の各支店
と店舗等に
掲示し、安
全運転を呼
びかけてい
ます。

た。飲酒運転で失うものの恐ろしさを伝えてくれる石橋さんの作品は、地区本部の各支店と店舗等に掲示し、安全運転を呼びかけています。

村上さんは「通学中に危険だなと感じていたことを絵にした。自転車通学では安全運転に努めている」と語ってくれました。美術部顧問の石原実可子先生は「描写力があり、また文字のレイアウトや構造が評価された」と話しました。全国の中学生からの応募総数19,766点のなかから大賞に選ばれた村上さんら小中学校生12名の大賞受賞者に対して、2月には東京で表彰式が行われます。

越野浩昭本部長、野津隆統括支店長らJA関係者は榮譽をたたえるため12月15日に東出雲中学校、19日には内中原小学校をそれぞれ訪問。村上さん、石橋さんに御祝の図書券を手渡し祝福しました。

全国共済農業協同組合連合会が主催する「令和5年度JA共済小・中学生第52回交通安全ポスターコンクール」において、東出雲中学校2年生の村上香菜さんの作品「遮断中! 侵入禁止」が農林水産大臣賞、同校も優秀学校賞を受賞しました。また、内中原小学校6年生の石橋由衣さんの作品「飲酒運転全てを奪う」も、金賞を受賞しました。



くにびき地区本部情報

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くまびき地区本部の取り組み～

くまびき農業法人会が
児童養護施設に新米を寄贈

くまびき農業法人会(岸本定朝会長)は11月29日、児童養護施設双樹学院へ地元産の新米を贈りました。

同会は、くまびき地区本部管内の18組織で構成。地域貢献活動の一環として、2011年から、各法人に米の提供を呼び掛けて同学院に新米を寄贈しています。今年度は17名余りが集まり、3回に分けて届ける予定です。

第1回目となる当日は、農事組合法人にこにこファーム新庄の和田友菜部長ら3名が訪問。小林生子院長に323kgを届けました。

小林院長は「食べ盛りの子も多く、毎年このように寄贈いただけるのとてもありがたい。みんなで感謝しながらいただきた」と謝辞を述べました。



小林院長(左)に新米10kg入りの袋を手渡す和田女性部長(左から2人目)らにこにこファーム新庄の3名

やすぎとくにびきの青年連盟
ゲームで真剣勝負！楽しく交流を深める

くまびき青年連盟(上山根有史委員長)とやすぎ青年連盟(佐藤明次委員長)は12月9日、周辺地域の青年連盟組織との親交を深め、結束力を高めることを目的に、くまびき地区本部営農総合センターで交流会を開催しました。

当日はやすぎ青年連盟から4名、くまびき青年連盟から9名、鳥根県東部農林水産振興センター、松江市役所の関係者も含め総勢16名が参加しました。

農業経営カードゲーム「農トレ」を用いて、盟友らが混合で3つのチームに分かれ、農業経営でどれだけ稼ぎ、手元にお金を残せるかを競い合いました。社長や経理部長、農場長などそれぞれの役割を決めてゲーム(経営)を進めていく過程で、獣害発生などの出来事に立ち向かいます。頭を使い、意見を出し合って会話を重ねることで打ち解けていき、会場は和気あいあいとした雰囲気になりました。

参加した盟友たちからは「おもしろかった」「もっとやりたかった」などの声が聞かれ有意義な時間となりました。



ゲームでは真剣に考え意見を出し合う

女性部とJA役職員が意見交換会開催！

JAしまねくにびき女性部(諏訪智子部長)は12月8日、教育文化センターSan・san館で、くまびき地区本部常勤役職員と意見交換会を開催しました。

意見交換会には女性部役員20名と越野浩昭本部長、中村隆副本部長、三島剛統括部長兼企画総務部長が出席しました。

冒頭、諏訪智子部長が「新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、今年は女性部も様々な活動を再開し活発に行っています。今日は女性部員を代表し、忌憚のない意見を出し合っていきましょう」と挨拶。

その後の意見交換では、女性部役員から「支店横の空き店舗になった建物を、ふれあいの場として活用できるようにしてほしい」、「ポイントカードのポイントは大事。特典内容をより充実してほしい」、「グリーンかわつはポイントが花にしかつかないので残念。産直品にもつけてほしい」、大規模な農場や法人だけでなく、中山間地域でがんばる個人の農家への支援もしっかりお願いしたい」など活発な意見が出ました。

越野本部長は「貴重なご意見に対し、先送りせず向き合っていきたい。協力しながら進めていきたいと思います」と述べました。



意見交換会の様子

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

燦燦会定期総会開催で交流を深める！

くにびき地区本部と取引や関係性を有する166の企業、団体などで構成する「JAしまねくにびき地区本部 燦燦会」（松浦嘉昭会長）第8回定期総会が11月28日、松江エクセルホテル東急で開催されました。



挨拶をする
松浦会長



挨拶をする
越野本部長

の越野浩昭本部長が「会員は現在も増加している。交流を深め、新規取引開拓などご縁を結ぶ場としても利用していただきたい。今後ともJA事業にご理解ご協力を賜りたい」と挨拶しました。

定期総会では、前年度の事業内容や収支決算の報告の後、本年度の活動について説明し、全議案が承認されました。

総会後は「きき酒大会」でテーブルごとのチームに分かれ日本酒の銘柄を当てる余興が行われ、会場は大いに沸きました。出席した会員は「きき酒が意外に難しかった」と話していました。

初めに松浦会長が「発足から8年続けていることは喜ばしく、今後も継続していくことが大切。皆でさらなる発展に努めていきたいと思います」と挨拶。続いて



定期総会の様子



フリーアナウンサー石原美和さんと中村隆副本部長の司会によるきき酒大会の様子

くにびき女性部健康グループ 笑いヨガ講座開催！

くにびき女性部健康グループ（山根静枝代表）は11月22日、営農総合センターで、「笑いヨガ講座」を開催しました。

笑いヨガインストラクターの村上優子氏が講師に招き、23名の部員が参加しました。

初めに座学で笑いヨガとは何か、県内での活動の様子などプロジェクトを見ながら説明を受けました。笑いヨガはインド人医師が考案し、現在100か国以上に広がる笑いの健康体操で、①お金も言葉も体力も必要なくいつでもどこでもできること②気分に関係なく体操としての作り笑いでもよいこと③笑いが健康によいことは科学的根拠が示されていることなど、その効果を理解しました。実践では、ハワイ旅行へ行くという想定で、様々な場面で笑い、声を出したり身体を動かしたり。はじめは体操として笑い始めた参加者は、「作り笑いが本笑いになった」「頭がスッキリした」「体が軽くなった」とその



楽しく「笑いヨガ」を実践する様子

効果を実感。「笑うことが楽しくなった」と会場は明るく楽しいムードで満ちていました。

楽しくつくろうハム作り！ フレッシュミズ部会

くにびき女性部フレッシュミズ部会（池田琴恵部長）は12月2日、教育文化センターSan・san館で、女性部諏訪智子部長を講師にハム作り教室を開催しました。

じっくり仕上げていく工程を体験でき、安全安心な手作りのハムを味わえるのが魅力です。

参加者は、大きなかたまりの肉を細かく切ったり、かたくり粉を加えて混ぜたりと、力が要る作業も協力し合って進めました。

完成したハムを試食した参加者からは「肉を切るのは大変だったけど楽しかった」、「手作りの美味しさを感じた」と満足そうに語っていました。



美味しいハムができました！

取り組んでいます。～くにびき地区本部の取り組み～



第27回家の光愛読者の集い 4年振りの開催 大いに盛り上がる!

くにびき地区本部は12月17日、「第27回JAしまねくにびき『家の光』愛読者の集い」を開催しました。新型コロナで中止後4年振りとなる今回は、会場を初めてホテル玉泉に移して多彩な催しもので盛り上がりました。

参加者からは「感動した」「充実した1日になった」「講演が心に沁みだ」など有意義な時間を過ごした様子で、盛会のうちに幕を閉じました。



女性部員でつくる「ゆりかごの会」が『家の光』に掲載された読者投稿の詩や「読者が選んだ私の好きな歌」を朗読。



読み聞かせ

隠岐の海士町に伝わる民謡キンチャモニヤを会場全員でにぎやかに踊る。



踊り

迫力満点で人気の演目「大蛇（おろち）」。大蛇を見たり演者と触れ合ったり。

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて

講演

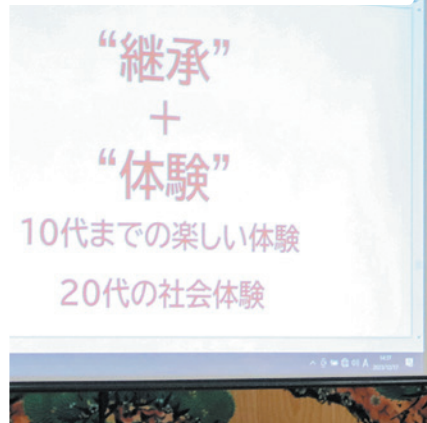
「人生がスツキリとどのう暮らしのヒント」

講師 **草薙 龍瞬** 氏 仏教僧侶・著述家

草薙龍瞬氏が妄想を手放すこと、自分の業を認めること、人生を振り返り年譜をつくることのすすめなど、急速に変わりつつある社会のなか「生き方」を取り戻し、人生をどう生きるかについて、よりよい未来を育てていくヒントになるお話をされました。この講演には心を揺さぶられ、印象に残った参加者が多く、人生について考えるきっかけになったと大きな反響をいただきました。



挨拶をする越野本部長



講演をする草薙氏

越野浩昭本部長が「久しぶりの開催に多数ご参集いただき感慨もひとしおです。この集いを契機にお声がけいただき『家の光』の愛読者の仲間を増やしていけることを願います」と挨拶。



次第

- 9:30 ~ 受付開始
- 10:00 ~ 開会 / 主催者挨拶 / 来賓祝辞
- 10:20 ~ 「家の光」活用事例紹介 (家の光協会)
- 10:40 ~ 【読み聞かせ】 JAしまねくにびき女性部「ゆりかごの会」
- 11:00 ~ 【アトラクション】 石見神楽 (松江真舞会)
- 12:10 ~ 【昼食・休憩】
- 13:00 ~ 【講演】「人生がスツキリとどのう暮らしのヒント」
講師 草薙 龍瞬氏
- 14:30 ~ 【踊り】グループ松の舞
～みんなで一緒にキンニャモニャ～
- 15:00 ~ お楽しみ抽選会
- 15:30 閉会

お楽しみ抽選会



大抽選会で越野本部長から特等の牡丹を受け取る山本英子さん

当選者には松江大根島牡丹やあんぼ柿、家の光協会の書籍などを贈呈。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

グリーンかわつ外売り場 リニューアルオープン！

JAグリーンかわつは11月11日、みしまや東川津店1・5周年記念と併せ、外売り場リニューアルオープン企画を実施しました。

同店は、オープン以来、外売り場を仮設テントで営業していましたが、この度、常設の下屋が完成。たまごのプレゼントやお米のすくいどりなどのイベントを実施し大勢の人で賑わいました。

お米のすくいどりをした法吉町の内田泰子さんは、「以前と比べて綺麗な売り場で、花苗もいっぱいあり、とても良い雰囲気。これから通いたい」と話しました。



お米のすくいどりをする様子



常設となった外売り場



多くの人で賑わう様子

防犯訓練実施！ 職員が防犯の意識高める

くにびき地区本部は12月6日、宍道支店で松江警察署協力のもと防犯訓練を実施しました。

同訓練は犯罪が増える年末に向け、防犯マニュアルや役割分担などの再確認と意識の高揚を図り、犯罪の未然防止や早期解決につなげることを目的に実施するもの。

当日は、店内に2人組の強盗が入ったという想定で訓練を開始。静かな店内に突如強盗に扮した警察官が押し入り、銃やナイフを突きつけながら荒々しく金を出すよう脅迫。一瞬でその場が凍り付きましたが、職員はマニュアルに従い非常通報装置を押し、犯人を刺激しないよう冷静に応じるなど、緊張しながらも適切な対応を取りました。また、犯人の逃走後到着した聞き込み役の警察官に、犯人の言動や服装、身体的特徴などを質問され、記憶をたどりながら情報を伝えていました。



事件の状況を伝える永井支店長

訓練終了後は講評を受け、①犯人を深追いしない②負傷者がいれば救護を優先する③職員が連携することが大切であることなどを再確認しました。また、未然防止対策についても指導いただきました。永井宏和支店長は「防犯への意識が高まる良い機会となりました。また、非常時に、冷静さを保つことや各自が役割を果たす難しさを実感しました。今後は、人命最優先の対応ができるようなケースを想定したコミュニケーションを職場会議等で定期的に実践します」と話しました。



防犯訓練の様子

くにびき地区本部 中途採用職員紹介

☆JAしまねくにびき地区本部の新しい顔！
中途採用職員をよろしくお願ひします。

- ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③自己PR



松江北ブロック 鹿島支店

よしだ けんた
吉田 健太

- ①サッカー・フットサル ②愛
③旅館スタッフと商社の営業として働いておりました。よろしくお願ひいたします。

(令和5年12月1日付)



JAの組合員になりませんか

JA（農業協同組合）は、食と農を基軸とする地域に根ざした「協同組合」です。組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

組合員加入促進運動実施中！！

重点取組期間 令和6年3月31日まで

JAでは組合員のニーズに沿ったサービスの提供や事業の展開をしています。

一戸で何人でも組合員になれます

組合員になるには？

組合員に加入できる方

島根県内に在住または勤務している方

組合員加入に必要なもの

- 出資金 1,000円以上 (1口 1,000円)
- 印鑑
- 本人確認書類 (運転免許証等)

詳しくはこちらをご覧ください



JAを利用する目的で、出資金1口（1,000円）以上していただくことで組合員になることができます。最寄りの支店窓口へお申し込みください。

特典1 葬祭事業のご利用割引

組合員の方は、祭壇料を **10%割引**いたします。

さらに「おおぞら」会員ご加入の場合は **最大19%割引**

特典2 おさいふカードでポイントが貯まる

JAとのお取引・ご利用に応じて、ポイントが貯まり、いろいろ使えます。

詳しくはこちらをご覧ください



特典3 総合的なご支援

住宅・教育・自動車ローン・生命・自動車共済等（専門担当者がご相談）

特典4 相談サービス

税務・年金・営農の各種相談のサービスが受けられます。

お問い合わせ

くにびき地区本部 企画総務部 総務課（TEL：0852-55-3000）
または、最寄りの支店窓口へ

恒例の「集落座談会」を1月24日から2月22日にかけて34会場で開催します。くにびき地区本部の事業概要や営農計画、対象地域のニーズにあった営農経済情報や相続・不動産等に関するお役立ち情報などをご説明します。何かとご多忙の折とは存じますが、ご出席を賜りますようお願いいたします。

支店別の開催時期(全34会場)													
支店	川津	島根	八束	美保関	法吉	古江	鹿島	津田	東出雲	八雲	乃木	宍道	玉湯
会場数	4	4	1	6	4	3	1	3	1	1	3	2	1
開催時期	1/27~ 2/3	2/1~ 2/7	2/2	1/25~ 2/7	2/3~ 2/7	1/24~ 1/31	2/9	2/4~ 2/10	2/17	1/28	1/30~ 2/2	2/10	2/22

- ・一部の集落では参集範囲を限定して開催します。
- ・会場別の詳しい日時は最寄りの支店よりご案内します。

お知らせ 熊野店ATM廃止について

JALしまねでは、取り巻く環境が厳しさを増していく中で「信用・共済事業改革」に取り組んでおり、その中で「JALしまねATM設置基準」を設けATMの再配置(移転・廃止等)を進めています。

当地区本部においても「JALしまねATM設置基準」を基本に検討した結果、「令和6年3月下旬」をもちまして「熊野店ATM」を廃止することとしました。日頃、「熊野店ATM」をご利用いただいている組合員・利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

実施時期：令和6年3月下旬予定

J A の 普 通 傷 害 共 済

日常生活での不慮の事故で負傷されたときに共済金をお支払いします

特長1 治療中でも共済金をお支払いします!

特長2 0歳~99歳までご加入できます!

共済金お支払い方法

災害でケガをされ、入院または通院された場合、そのケガの部位と症状が確認できれば共済金をお支払いいたします。

- 災害を受けた日から200日以内に入院したとき、または入院しなかった場合で、通院した日数が5日以上するとき

部位・症状別治療共済金額 × 支払倍率表の倍率
(部位・症状に応じて5倍~120倍)

<お支払の一例> 部位・症状別治療共済金額3,000円の場合
転倒して腕を骨折し、5日以上通院したとき…

部位⇒『上肢』 症状⇒『骨折』

支払倍率表の倍率・・・「35倍」

お支払いする共済金は、

105,000円 となります。



- 災害を受けた日から200日以内に入院しなかった場合で、通院した日数が5日未満で治療が完了したときは、部位・症状別共済金額の2倍のお支払となります。

JALしまね くにびき地区本部の各支店にお申込みください!



1万人以上の方が一斉にご加入される、お得な「**集団扱い契約**」での共済掛金でご加入いただけます。

掛金例：1年分の共済掛金です。()内は個人扱いで加入する場合の共済掛金です。

令和6年2月5日契約 (保障期間：令和6年2月5日~令和7年2月5日)
集団扱い契約の普通傷害共済掛金(令和6年2月掛金適用)
【死亡共済金額300万円の場合】※81歳~99歳の方は死亡共済金額50万円です。

年齢	部位・症状別 治療共済金額	職業・職種区分	
		1級	2級
		農業、事務員、主婦、 販売員、バス運転手など	漁業、土木・建設作業員 など
0歳~69歳	3,000円	7,680円 (9,600円)	9,840円 (12,300円)
70歳~80歳	2,000円	6,060円 (7,570円)	7,820円 (9,780円)
81歳~99歳	2,000円	職業にかかわらず	8,850円 (11,065円)

- お引き受けできない方 ○年齢が100歳以上の方
- 職業によってはお引き受けできないこともあります

※この記事は、共済の概要を説明しています。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。【23320320170】

作ってみませんか? くにびき女性部からのおすすめ料理



大根のおろし和え、おから炒り煮

今月は、冬に美味しい大根を使った「おろし和え」と、手軽に一品!栄養満点「おからの炒り煮」を紹介します。どちらもホッとするやさしい味わいに仕上がりました。

今月の料理人

島根支部のみなさん (左から)
石川 幸子 さん
団野 紀江 さん



大根のおろし和え (4人分)

- ・ダイコン…………… 250g 【A】
- ・赤板…………… 1/3枚
- ・キュウリ…………… 1/3本
- ・乾燥ワカメ…………… 10g
- ・サラダ油…………… 少々
- ・酢…………… 大さじ3
- ・さとう…………… 大さじ1
- ・薄口しょうゆ…………… 小さじ1/2

作り方

- ①ダイコンをすりおろし水気を軽く切り、①を加えておろし酢を作る。
- ②赤板は、角切りにし油をしかず軽く炒める。キュウリは角切り、ワカメは湯を通し細切りにする。
- ③①のおろし酢で②を和える。

ポイント

- ・赤板とキュウリを角切りにすることで食感を楽しめます。

おからの炒り煮 (4人分)

- ・おから…………… 150g 【A】
- ・ニンジン… 中1/4本
- ・ゴボウ… 中1/4本
- ・干しシイタケ…………… 小3枚
- ・さつま揚げ…………… 1枚
- ・ネギ…………… 2本
- ・ゆで卵…………… 1個
- ・だし汁…………… 600cc
- ・薄口しょうゆ…………… 大さじ2
- ・さとう…………… 大さじ2
- ・みりん…………… 大さじ2
- ・酒…………… 大さじ2

ポイント

- ・春になったら、タケノコを加えてもおいしいです。

作り方

- ①ニンジンとゴボウはさがぎにして水にさらす。干しシイタケは水で戻し千切りに、さつま揚げは薄切りにする。
- ②鍋に①を合わせて煮立て、ニンジン、ゴボウ、干しシイタケを入れて約10分煮る。
やわらかくなったら、さつま揚げを加えて数分煮る。
- ③②におからを加え、混ぜながら煮汁がなくなるまで炒り煮する。
- ④③に小口切りにしたネギを加えて仕上げる。
- ⑤④をお皿に盛ったら、ゆで卵を裏ごしして上に飾る。

2月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・予約先電話番号・時間
2	金	税務相談会	法吉支店 (TEL: 21-3690) 10:00~12:00
5	月	税務相談会	乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00~12:00
6	火	税務相談会	東出雲支店 (TEL: 52-2022) 10:00~12:00

※事前にご予約をお願いします。予約先:開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローンセンターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※2月の土曜営業日は3日、17日です。

◆お問い合わせは

0120-988-380

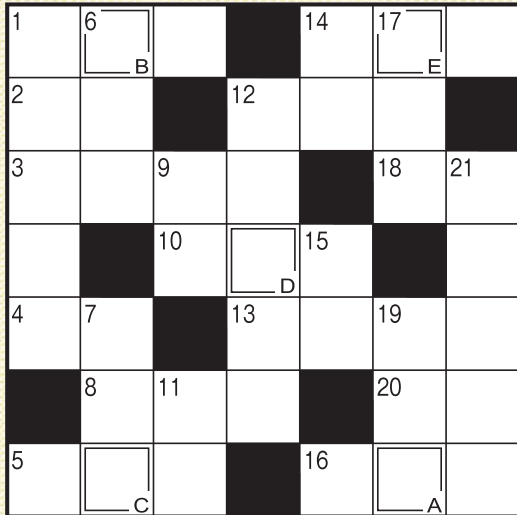
2月 ふれあい訪問日

2月20日(火)・21日(水)



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①フキの花茎のこと
- ⑥銀世界を眺めて楽しめます
- ⑦ガイド——を片手に観光地を巡った
- ⑨安倍川にして食べようかな、磯辺巻きもいいな
- ⑪日没のことを日の——ともいいます
- ⑫雪だるまを英語（片仮名語）でいうと
- ⑭佐渡島にはこの鳥の保護施設があります
- ⑮漢字には音読みと——読みがあります
- ⑰平方根を表す記号
- ⑲魚偏に「弱」と書きます
- ⑳中国や台湾の旧暦の正月

ヨコのカギ

- ①最低気温が0度より低い日
- ②現代人は電子——に囲まれて暮らしています
- ③水筒に入れます
- ④ヒヒーン!といもなく動物
- ⑤スマホに入れたり消したりします
- ⑧ベッドが2つある部屋
- ⑩頬のこと。——ダンス
- ⑫スラロームやモーグルなどの種目があります
- ⑬人がいっぱいに入っている状態
- ⑭西アジアの国の1つ。首都はアンカラ
- ⑯空気が乾燥しているので——器をつけた
- ⑰節分の豆を——の数だけ食べた
- ⑱実がなるまでの期間が短めの品種のこと

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

J Aしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2024年2月2日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「ハツヒノデ」



俳句の広場

最優秀賞

焼箸を一口母の口元へ

益田市 竹田 数子様

優秀賞

偕老の婦唱夫随や年の暮

出雲市 藤江 堯様

ココロと何やら楽し木の実かな

出雲市 中尾真紀子様

君ならば出来る大根引くことも

津和野町 田中とよし様

佳作

賀状書く年に一度のラブレター
人生は片道列車秋風裡
日のあたる小庭眺めて蜜柑むく
簸川野を二重に巻きてしぐれ虹
白鳥の声に振り向く男かな

出雲市 北村 功様
出雲市 金山 陽様
邑南町 三宅伊知枝様
出雲市 小豆澤典子様
松江市 岩成 薫様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」2月号 定価629円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



家計の負担を抑えたい方必見! JA共済

JAの自動車共済にすると

島根県で約150,000台=約4台に1台が
選ばれてます!! JAの自動車共済です!!
令和5年3月末時点JA共済自動車保有台数

えっ!こんなに安くなるの!?

JAの自動車共済ならこの保障内容で
“えっこんなに安くなるの”と驚きのご提案ができるかも!?
※車種等によっては共済掛金が安くない場合もございます。

共済掛金例 軽自動車

日産 デイズ
自家用軽乗用車
型式: B43W

車両保障 130万円の場合

車両保障なし	一時払 20,070円
月払 1,790円	
車両保障あり	一時払 39,100円
全損害担保 月払 3,490円	

共済掛金例 普通乗用車

トヨタ ヴォクシー
自家用普通乗用車
型式: ZRR85W

車両保障 270万円の場合

車両保障なし	一時払 14,370円
月払 1,300円	
車両保障あり	一時払 34,200円
全損害担保 月払 3,070円	

(保障内容・ご契約例) 個人契約/共済期間: 12か月/等級: 20等級(事故有係数適用期間0年)/運転者年齢条件: 35歳以上限定保障/記名被共済者年齢階別掛金区分: 40~49歳/車両保障: 有(車両共済金額別掲)、免責金額5万円/対人賠償: 無制限/対物賠償: 無制限(対物超過修理費用保障付)、免責金額0円/人身傷害保障: 3,000万円(被共済者限定特約: 有)/傷害定額給付保障: 1,000万円(標準型・被共済者限定特約: 有)/弁護士費用保障特約: 有/長期優良契約割引: 有(適用1年目)/ゴールド免許用掛金/自動継続割引: 有/自賠責共済セット割引: 有/新車割引: 有(初年度登録: 令和3年4月)/※各種割引の適用には一定の条件があります。※令和5年1月現在の共済掛金です。

お見積り依頼、お問合せはこちらから
お見積りは簡単! しかもJAなので任せて安心です!



お近くの支店・共済担当職員まで
お気軽にお問い合わせください!

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 23320320171



JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JAしまね×洋服の青山・はるやま

店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!



ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 〈洋服の青山〉松江店・島根斐川店・出雲浜山通店・浜田店・米子本店・三次店
〈はるやま〉松江店・島根三刀屋店・出雲店・島根大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会(入会無料)が必要となります。



お問合せ / 本店経済課

TEL : 0853-25-8912



本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



白菜と豚肉のミルフィーユ&かき玉スープ



コメント

- ・蒸し汁に溶けだしたうまみと栄養もスープにしておいしくいただけます。
- ・耐熱皿に白菜の重ねたものを乗せ、ラップを軽くかけてレンジ(600w)で12~15分加熱しても出来ます。
- ・白菜の厚みのある部分はすりこ木などで叩いておくとの熱の通りが早いです。

アレンジ

- ・豚肉を鶏ミンチに代えたり、薄切りにしたエリンギやスライスした人参、粉チーズをプラスして挟んだりしてもOK!
- ・土鍋に重ねた白菜を詰め合わせて入れ、日本酒またはワイン100ccを注ぎ、15分蒸し煮にすると鍋料理に。

材料(4人分)

- ◆ミルフィーユ
 - 白菜……………8枚(600g)
 - 豚バラ肉……………250g
 - 塩こしょう……………少々
 - 人参……………1本
 - しいたけ……………2枚
 - ブロッコリー……………1/2株
 - 水……………200cc
- A ねぎ(みじん切り)……………1本(50g)
- しょうゆ・酢・砂糖……………各大さじ2
- ごま油……………小さじ2
- ◆かき玉スープ
 - 白菜蒸し汁+水……………600cc
 - えのきたけ……………1袋
 - 青梗菜(小)……………1株
 - 卵……………1個
 - 塩……………小さじ1弱
 - しょうゆ……………小さじ1

作り方

- ◆ミルフィーユ
 - ①豚バラ肉は半分の長さに切り、軽く塩こしょうをふる。
 - ②人参は皮をむいて、7mmの厚さの輪切りに、しいたけは半分に、ブロッコリーは小房に分ける。
 - ③白菜1枚をまな板の上に置き、その上に豚バラ肉を広げて乗せる。半分量の豚バラ肉と白菜を交互に重ねて、手で軽く押しなじませ、4等分に切る。残りも同様に重ねて切る。
 - ④フライパンに③を並べ入れ、人参、しいたけも隙間に置き、水200ccを加えてフタをして火にかける。豚バラ肉に火が通るまで10~15分間蒸す。途中でブロッコリーも加え火を通す。
 - ⑤火の通ったミルフィーユを半分に切って皿に盛り付け、混ぜ合わせたAのねぎたれをかける。
- ◆かき玉スープ
 - ①えのきたけは根元を除き、半分の長さに切る。青梗菜は2~3cmの長さに切る。
 - ②白菜の蒸し汁と水を合わせた600ccとえのきたけを鍋に入れ、火にかけ沸騰したらアクを取ってから青梗菜を加え、塩としょうゆで調味する。
 - ③溶き卵を加えて、火を通す。

材料(4人分)

- 大根……………600g(2/3本)
- A 鶏がらスープの素……………大さじ1
- 水……………1カップ(200cc)
- エビ……………300g
- しめじ……………1袋
- ブロッコリー……………1/2株
- 生姜……………ひとかけ
- 塩こしょう……………少々
- 牛乳……………50cc
- 片栗粉……………大さじ1
- 水……………大さじ2
- ごま油……………大さじ1

作り方

- ①大根は皮をむいて1.5cm角に切り、耐熱皿に大根とAを入れ、ラップをしてレンジ(600w)で10分加熱する。
- ②エビは背中に切れ目を入れて、背ワタを取り洗って、水気をきる。
- ③生姜はみじん切りにし、しめじ、ブロッコリーは小房に分ける。
- ④フライパンに①の大根を汁ごと入れ火にかけ、軟らかくなるまで煮る。
- ⑤③を④のフライパンに入れ、火を通し、塩こしょうをふる。
- ⑥牛乳を加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑦最後にごま油を回し入れる。

大根とえびの中華風ミルク炒め



コメント

- ・大根に鶏ガラスープの素を振りかけてレンジで加熱すると、じゅくり煮込んだ『時短! 味シミシミ大根』に!

アレンジ

- ・エビをホタテ、タラ、鶏肉、豚肉、ハム、ウインナー、ベーコン等に代えても美味しいです。
- ・大根を蕪に代えたり、太ねぎ、人参、白菜、カリフラワーなどいろいろな野菜とも組み合わせたりして楽しめます。

健康散歩

带状疱疹

JA島根厚生連

近年、带状疱疹を発症する人が増加していますが、皆さんは带状疱疹がどういったものかご存じでしょうか。

带状疱疹の原因は、水疱瘡(みずぼうそう)の原因と同じ「水痘・带状疱疹ウイルス」です。初めてこのウイルスに感染した時は、水疱瘡として発症します。1週間程度で治りますが、治癒後もウイルスは神経節(末梢神経系の神経細胞が集まっている部分)内に潜伏します。加齢や、ストレス、病気などで免疫が低下するとウイルスが再活性化し、带状疱疹を発症するといわれています。特に50歳以上は带状疱疹の好発年齢です。

带状疱疹を発症すると、身体の左右どちらかに発疹や水疱が現れ、強い痛みを伴います。神経節に潜むウイルスが神経に沿って移動し症状を引き起こしますが、神経は全身に張り巡らされているため、様々な部位に症状が現れます。最も多くみられるのは胸から背中にかけてです。



また、顔面や眼の周囲も発症しやすい部位で、全体の半数以上が上半身に発症します。带状疱疹のほとんどは、早めに医療機関に受診し治療を受ければ(発疹が出てから

72時間以内に抗ウイルス薬を使うことが望ましいとされています)完治します。しかし、带状疱疹の治療が遅れた場合は、神経自体が傷つき、皮膚症状が治まった後も長期間にわたって痛みが続くことがあります。これを带状疱疹後神経痛といい、その痛みは極めて強いです。带状疱疹後神経痛を防ぐためにも、できるだけ早く治療を始めウイルスを抑えることが重要ですが、仮に皮膚症状が治まった後も痛みが続く場合は、医師に相談しましょう。

带状疱疹の予防として50歳以上を対象とした带状疱疹ワクチンの接種(予防接種)が推奨されています。予防接種をすることで免疫が強化され、発症をある程度予防することができます。仮に発症したとしても軽症で済むという報告があります。皮膚科などで接種できる場合があるため、50歳以上の方はワクチンの接種を検討するといでしょう(予防接種の対象者等は医師にご確認ください)。また、発症予防には免疫力を低下させないことが重要です。免疫力を低下させないことは、带状疱疹に限らず、様々な病気の予防にも大切なことです。食事や睡眠をしっかり取るなど規則正しい生活を心がけ、日々の体調管理に気をつけて過ごしましょう。

【編集後記】 新年あけましておめでとうございます。新しい年が始まりましたが、皆さんはどんな1年にしたいですか? 私はさまざまな所に出かけること、早起きして朝の時間をしっかりとることが目標です! 今年もよろしくお願いたします。(古)



2024年1月17日発行(月1回発行)
編集/JAしまね ふれあい福祉課・くまびき地区本部
発行/島根県農業協同組合 くまびき地区本部
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 TEL:0852-55-3018 FAX:0852-32-6970
e-mail:affairs.kun@ja-simane.jp